◇┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳◆

**食科協かわら版　No.320　（2021年度No.40）**　 　2021/12/17

食の行政情報ならびに食中毒情報及びコロナ関係通知をお伝えする食科協のメールマガジン

食中毒情報は１回限り　行政情報は原則2回の掲載で削除します

新しいものは*NEW*マークがついております　期限設定のある記事は　期限終了まで掲載

**青字をスクロール　Ctrlキーを押しながらクリック　もしくは右クリックでハイパーリンクを開く**

◇┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻◆

**次回は「ミネシメジ」****お願い　次回できのこのネタを使い切ります**

**その後の掲載はなにがいいかご希望をお知らせください**

|  |  |
| --- | --- |
| **目次** | **ページ** |
| 1. [**食科協関係**](#食科協関係)**事業経過等　+東京都関係** | **2** |
| **2**[**厚生労働省関係**](#厚生労働省関係) | **2-6** |
| **3**[**食品安全委員会関係**](#食品安全委員会関係) | **6-7** |
| **4**[**農水省関係**](#農水省関係) | **7-17** |
| **5**[**消費者庁関連**](#消費者庁関連)**リコール情報** | **17-18** |
| **6**[**食中毒・感染症**](#食中毒・感染症)  **細菌性食中毒→ウイルス性食中毒→寄生虫→自然毒→感染症→違反品の回収→他**  **各項目発生順で記載　菌種については月により掲載位置が変動しています** | **18-29** |

**１．****[食科協関係](#食科協関係)**

12月10日　かわら版319号・かわら版ニュース＆トピックス193号を発行。

12月10日　第7回運営委員会・常任理事会開催。

12月14日　かわら版ニュース＆トピックス194号を発行。

12月17日　かわら版320号・かわら版ニュース＆トピックス195号を発行。

**年末の事務所のお休みについて**

**12月29日から1月６日までお休みをいただきます　再開は１月７日です**

**２.****[厚生労働省関係](#厚生労働省関係)**　<https://www.mhlw.go.jp/index.html>

**★***Link***傍聴・参加が可能な審議会等の会議一覧　ご案内しきれないときもございます**<https://www.mhlw.go.jp/topics/event/open_doors.html>

**★***Link***副反応疑い報告の状況について（とても詳しい資料です）**

**厚生科学審議会 (予防接種・ワクチン分科会 副反応検討部会)**

<https://www.mhlw.go.jp/stf/shingi/shingi-kousei_284075.html>

**■***NEW***薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会添加物部会（オンライン会議）資料　2021/12/14**

<https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_22651.html>

**■***NEW***ヒトパピローマウイルス感染症～子宮頸がん（子宮けいがん）とHPVワクチン～　2021/12/13**

<https://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou28/index.html>

**■***NEW***HPVワクチンに関するQ&A　2021/12/13**

<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou/hpv_qa.html>

**■第2回WHO特別総会結果（概要）　2021/12/6**

<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/hokabunya/kokusai/tp210607-01_00005.html>

**■第73回厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会副反応検討部会、令和３年度第23回薬事・食品衛生審議会薬事分科会医薬品等安全対策部会安全対策調査会（合同開催）　資料　2021/12/3**

<https://www.mhlw.go.jp/stf/shingi2/0000208910_00035.html>

**■令和３年度第１回化学物質のリスク評価検討会（ばく露評価小検討会）　議事録　2021/12/3**

<https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_22558.html>

**■***NEW***食品中の放射性物質の調査結果（令和３年２～３月調査分）　2021/12/15**

<https://www.mhlw.go.jp/stf/houdou/0000205937_00014.html>

　　厚生労働省は、国立医薬品食品衛生研究所に委託して、令和３年２月から３月に、全国15地域で、実際に流通する食品を購入し、食品中の放射性セシウムから受ける年間放射線量を推定しました。

　　調査の結果、食品中の放射性セシウムから、人が１年間に受ける放射線量は、0.0005～0.0009ミリシーベルト／年と推定され、これは現行基準値の設定根拠である年間上限線量１ミリシーベルト／年の0.1％程度であり、極めて小さいことが確かめられました。

　　なお、放射性セシウム（Cs-134とCs-137の合計）濃度が0.5Bq/kg以上となった試料については、放射性ストロンチウム（Sr-90）及びプルトニウム（Pu-238、Pu-239＋240）も調査することとしています。

　　今回、調査対象となる放射性セシウム濃度が0.5Bq/kg以上の試料はありませんでした。

　厚生労働省では、今後も継続的に同様の調査を行い、食品の安全性の検証に努めていきます。

参考：　東京電力福島第一原発の事故に由来して、食品中の放射性物質から長期的に受ける線量の大半は、放射性セシウムによるものとされています。

資料

　（別添１）　食品中の放射性セシウムから受ける放射線量の調査結果　（令和３年２～３月調査分）

<https://www.mhlw.go.jp/content/11134000/000864509.pdf>

　（別添２）　食品中の放射性物質の調査結果　～令和３年２～３月に採取した試料の放射性ストロンチウム及びプルトニウム濃度～  
<https://www.mhlw.go.jp/content/11134000/000864510.pdf>

**■***NEW***食品中の放射性物質の検査結果について（１２６６報）　2021/12/14**

<https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_22564.html>

　２　緊急時モニタリング又は福島県の検査結果

　　 　※ 基準値超過　１件

　　　　　No. 1　　福島県　　　乾燥コウタケ　　　（Cs：120 Bq/kg）　南会津町

**■***NEW***原子力災害対策特別措置法第20条第２項の規定に基づく食品の出荷制限の設定　2021/12/13**

<https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_22649.html>

　　本日、原子力災害対策本部は、昨日までの検査結果等から、茨城県及び群馬県に対し、以下について出荷制限の設定を指示しました。

（１）茨城県水戸市みとし及び茨城町いばらきまちにおいて採取されたキノコ類（野生のものに限る）

（２）群馬県みどり市、中之条町なかのじょうまち、草津町くさつまち、片品村かたしなむら及び川場村かわばむらにおいて採取されたキノコ類（野生のものに限る）

１　茨城県に対し、水戸市及び茨城町において採取されたキノコ類（野生のものに限る）について、本日、出荷制限が指示されました。

（１）本日付けの原子力災害対策本部から茨城県への指示は別添１のとおりです。

（２）茨城県の出荷制限指示後の管理の考え方は、別添２のとおりです。

※ 300 Bq/kg（水戸市、アカヤマドリ、令和３年７月20日検査結果）

　　 120 Bq/kg（茨城町、カワリハツ、令和３年９月27日検査結果）

２　群馬県に対し、みどり市、中之条町、草津町、片品村及び川場村において採取されたキノコ類（野生のものに限る）について、本日、出荷制限が指示されました。

（１）本日付けの原子力災害対策本部から群馬県への指示は別添３のとおりです。

（２）群馬県の出荷制限指示後の管理の考え方は、別添４のとおりです。

※ 280 Bq/kg（草津町、ハナイグチ、令和３年10月７日検査結果）

　　 510 Bq/kg（川場村、アカモミタケ、令和３年10月７日検査結果）

　 110 Bq/kg（川場村、クリタケ、令和３年10月７日検査結果）

　 400 Bq/kg（中之条町、ハナイグチ、令和３年10月７日検査結果）

　 350 Bq/kg（片品村、チャナメツムタケ、令和３年10月７日検査結果）

　 190 Bq/kg（みどり市、クリタケ、令和３年10月21日検査結果）

３　なお、原子力災害対策特別措置法の規定に基づく食品の出荷制限及び摂取制限の指示の一覧は、参考資料のとおりです。

　【参考１】　原子力災害対策特別措置法　－抄－

（原子力災害対策本部長の権限）

第２０条　（略）

２　原子力災害対策本部長は、当該原子力災害対策本部の緊急事態応急対策実施区域及び原子力災害事後対策実施区域における緊急事態応急対策等を的確かつ迅速に実施するため特に必要があると認めるときは、その必要な限度において、関係指定行政機関の長及び関係指定地方行政機関の長並びに前条の規定により権限を委任された当該指定行政機関の職員及び当該指定地方行政機関の職員、地方公共団体の長その他の執行機関、指定公共機関及び指定地方公共機関並びに原子力事業者に対し、必要な指示をすることができる。

３～１０　（略）

【参考２】

「検査計画、出荷制限等の品目・区域の設定・解除の考え方」（原子力災害対策本部：最終改正 令和３年３月26日）

（別添１）<https://www.mhlw.go.jp/content/11135000/000865704.pdf>

（別添２）<https://www.mhlw.go.jp/content/11135000/000864564.pdf>

（別添３）<https://www.mhlw.go.jp/content/11135000/000865705.pdf>

（別添４）<https://www.mhlw.go.jp/content/11135000/000865404.pdf>

（参考資料）<https://www.mhlw.go.jp/content/11135000/000864572.pdf>

**■食品中の放射性物質の検査結果について（１２６５報）　2021/12/8**

<https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_22408.html>

**１　自治体の検査結果**

**※ 基準値超過　２１件**

**No. 176 群馬県産 　　イノシシ　 　　　 （Cs：120 Bq/kg）　東吾妻町**

**No. 190 群馬県産 　　ツキノワグマ 　　 （Cs：120 Bq/kg）　沼田町**

**No. 199 群馬県産 　　ツキノワグマ （Cs：140 Bq/kg）　桐生市**

**No. 202 群馬県産 　　イノシシ 　　　　 （Cs：160 Bq/kg）　みどり市**

**No. 203 群馬県産 　　イノシシ 　　　（Cs：990 Bq/kg）　みどり市**

**No. 207 群馬県産 　　ツキノワグマ　　　 （Cs：250 Bq/kg）　みどり市**

**No. 208 群馬県産 　　ツキノワグマ　　　 （Cs：160 Bq/kg）　みどり市**

**No. 209 群馬県産 　　ツキノワグマ　　　 （Cs：450 Bq/kg）　みどり市**

**No. 210 群馬県産 　　ツキノワグマ　　　 （Cs：310 Bq/kg）　みどり市**

**No. 211 群馬県産 　　ツキノワグマ　　　 （Cs：280 Bq/kg）　みどり市**

**No. 212 群馬県産 　　ツキノワグマ　　　 （Cs：320 Bq/kg）　みどり市**

**No. 213 群馬県産 　　ツキノワグマ　　　 （Cs：330 Bq/kg）　みどり市**

**No. 214 群馬県産 　　ツキノワグマ　　　 （Cs：220 Bq/kg）　みどり市**

**No. 216 群馬県産 　　ツキノワグマ　　　 （Cs：270 Bq/kg）　みどり市**

**No. 217 群馬県産 　　ツキノワグマ　　　 （Cs：200 Bq/kg）　みどり市**

**No. 218 群馬県産 　　ツキノワグマ　　　 （Cs：120 Bq/kg）　みどり市**

**No. 219 群馬県産 　　ツキノワグマ　　　 （Cs：120 Bq/kg）　みどり市**

**No. 220 群馬県産 　　ツキノワグマ　　　 （Cs：110 Bq/kg）　みどり市**

**No. 221 群馬県産 　　ツキノワグマ　　　 （Cs：310 Bq/kg）　みどり市**

**No. 222 群馬県産 　　ツキノワグマ　　　 （Cs：140 Bq/kg）　みどり市**

**No. 419 宮城県産 　　ニホンジカ肉　　　 （Cs：140 Bq/kg）　石巻市**

<https://view.officeapps.live.com/op/view.aspx?src=https%3A%2F%2Fwww.mhlw.go.jp%2Fcontent%2F11135000%2F000863664.xlsx&wdOrigin=BROWSELINK>

**■***NEW***食品安全情報（微生物）No.25/ 2021（2021.12.8）**

<http://www.nihs.go.jp/dsi/food-info/foodinfonews/2021/foodinfo202125m.pdf>

**目次**

**【米国食品医薬品局（US FDA）】**

1. 米国食品医薬品局（US FDA）と「Stop Foodborne Illness」が食品安全文化に関する　オンラインセミナーを共同開催

**【米国疾病予防管理センター（US CDC）】**

1. ベビーホウレンソウに関連して複数州にわたり発生している大腸菌 O157:H7 感染アウトブレイク（2021 年 12 月 3 日付更新情報）

2. ケーキミックスに関連して複数州にわたり発生した大腸菌 O121 感染アウトブレイク（2021 年 9 月 16 日付最終更新）

**【カナダ公衆衛生局（PHAC）】**

1. 公衆衛生通知：カナダの複数州にわたり発生しているサルモネラ（Salmonella　Enteritidis）感染アウトブレイク（2021 年 11 月 29 日付更新情報）

**【欧州疾病予防管理センター（ECDC）／欧州食品安全機関（EFSA）】**

1. ECDC-EFSA 合同迅速アウトブレイク評価：輸入メロンに関連したと推定される複数国にわたるサルモネラ（Salmonella Braenderup シークエンスタイプ（ST）22）感染アウトブレイク

**【欧州委員会健康・食品安全総局（EC DG-SANTE）】**

1. 食品および飼料に関する早期警告システム（RASFF：Rapid Alert System for Food and Feed）

**【英国保健安全保障局（UK HSA）】**

1. 2020 年に抗生物質耐性菌による感染症が 2016 年以降で初めて減少 ― 英国保健安全保障局（UK HSA）は一時的な減少である可能性が高いと警告

**【オーストラリア保健省（Australian Government Department of Health）】**

1. 世界抗生物質啓発週間（WAAW：World Antimicrobial Awareness Week） ― 2021年11 月 18～24 日に開催

<http://www.nihs.go.jp/dsi/food-info/foodinfonews/2021/foodinfo202125m.pdf>

**■***NEW***食品安全情報（化学物質）No.25/ 2021（2021.12.8）**

<http://www.nihs.go.jp/dsi/food-info/foodinfonews/2021/foodinfo202125c.pdf>

**＜注目記事＞**

**【EC】 食品偽装：欧州委員会はハーブとスパイスの真正性に関する初の EU 域内調査の結果を発表**

欧州委員会（EC）は、不純物が混入したハーブやスパイスが EU 市場に存在している可能性があるとの情報を受けて、EU 加盟国 21 カ国、スイス及びノルウェーが参加した、ハーブとスパイスの真正性に関する初の協調管理計画の調査結果を公表した。6 種類のハーブとスパイス 1,885 サンプルを分析した結果を ISO（国際標準化機構）規格に照らして評価したところ、混入リスクがあると判断されたサンプルの割合は、コショウ 17％、クミン14％、クルクマ 11％、サフラン 11％、パプリカ/チリ 6％であった。オレガノは、48％のサンプルに汚染リスクがあり、そのほとんどがオリーブの葉であったことから、最も脆弱であると特定された。この結果をもとに EC は、事業者に改善措置の実施を求め、各国規制当局には公的管理の強化を要請した。

**【ANSES】 亜酸化窒素中毒の増加**

フランス食品・環境・労働衛生安全庁(ANSES)とフランス保健製品安全庁(ANSM)は、一般的に「笑気ガス」として知られる亜酸化窒素の誤用による中毒事例について、フランス中毒管理センター（PCC）及び薬物依存及び中毒モニタリングの評価情報センター（CEIP-As）への報告件数が、前回（2019 年）の調査時よりも増加しているとして注意を喚起した。特に、亜酸化窒素を含むキッチン用サイフォンのカートリッジなどを用いたガスの吸入により陶酔感を得ようとする誤用事例が懸念される。使用者は主に若年層であり、未成年の割合も増加している。ガスは中枢神経系に作用するため、反復して頻繁に吸入すると、頭痛やめまいなどのほか、心拍障害、窒息リスク、精神障害及び神経障害などのより深刻な影響も引き起こす可能性がある。2021 年 6 月 1 日、フランスでは亜酸化窒素の誤用を防ぐための法律が成立し、未成年者への亜酸化窒素の販売あるいは提供が違法となった。

**【ANSES】 アスベストを飲み込むことによるハザードの可能性についての最初の文献レビュー**

アスベストによる健康リスクについては主に吸入暴露に焦点が当てられてきたが、フランスでは公共飲料水供給ネットワークの 4%が今でもアスベストセメント製であることを受けて、ANSES が、アスベストの経口摂取と消化器がんの発症との関連を確認するために最初の科学的文献レビューを実施した。その結果、既存の文献には時代や方法論の限界があり、因果関係の有無を判断するには根拠が不十分と判断された。ただし、確かではないが、食道がん、胃がん、結腸がんについては関連の可能性を示す兆候はあるとされた。

**【FDA】 FDA は食品検査のための試験所認定の最終規則を発行**

米国食品医薬品局（FDA）は、食品安全近代化法（FSMA）に基づき、食品検査のための試験所認定（LAAF）プログラムの最終規則を発行した。現在、食品検査は主に民間試験所によって実施されており、その規格や管理の程度がさまざまである可能性がある。LAAF プログラムが完全に実行されると、最終規則に定められた特定の状況では LAAF 認定試験所のみ食品検査を実施できるようになる

<http://www.nihs.go.jp/dsi/food-info/foodinfonews/2021/foodinfo202125c.pdf>

**3.****[食品安全委員会関係](#食品安全委員会関係)**　<https://www.fsc.go.jp/>

**■***NEW***食品安全委員会（第８43回）の開催について　2021/12/16**

**最近、発表が遅く、締め切りが早くなっております。参加をご希望の場合は、各自ご確認ください**

標記会合を下記のとおり開催しますので、お知らせいたします。

なお、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、本会合については、傍聴者を入れずに開催いたしますが、本会合の様子については、下記４のとおり、web上で動画配信することといたしました。

議事録につきましては、後日、食品安全委員会Webサイト

（<http://www.fsc.go.jp/iinkai_annai/jisseki.html>） に掲載いたします。大変御迷惑をお掛けいたしますが、ご理解のほど、何卒よろしくお願いいたします。

記

１．開催日時：令和3年12月21日（火）　１４：００〜

２．開催場所：食品安全委員会 大会議室　（港区赤坂５−２−２０ 赤坂パークビル２２階)

３．議事

（１）食品安全基本法第２４条の規定に基づく委員会の意見について

　　　・遺伝子組換え食品等「チョウ目害虫抵抗性トウモロコシMON95379系統」に係る食品健康影響評価について

（２）その他

４．動画視聴について：本会合の様子の動画視聴を希望される方は、12月20日（月）12時までに内閣府共通意見等登録システム（<https://form.cao.go.jp/shokuhin/opinion-1176.html>にて、氏名、所属、電話番号及びメールアドレスを御登録いただきますようお願いいたします。視聴をお申し込みいただいた方には、御登録いただいたメールアドレス宛てに、視聴に必要なURLを、12月21日（火）12時までに御連絡いたします。なお、当日の資料につきましては、同日14時までに食品安全委員会Webサイト

（<http://www.fsc.go.jp/iinkai_annai/jisseki.html>）に掲載いたします。

<https://www.fsc.go.jp/iinkai_annai/annai/annai804.html>

<http://www.fsc.go.jp/iinkai_annai/annai/> 　**←発表がない場合はこちらからご確認ください**

**会議の結果は下記から確認できます**

**★***Link***食品安全委員会　開催実績リンク　開催日時、配付資料、議事録等**

<https://www.fsc.go.jp/iinkai_annai/jisseki.html>

　<https://www.fsc.go.jp/iken-bosyu/pc1_hisiryou_muramidase_030512.html>

**■食品安全関係素材集　2021/11/30**

**いい仕事です　ホームページにも掲載済み**

<https://www.fsc.go.jp/sozaishyuu/>

**■***NEW***食品安全関係情報更新（令和3年11月6日から令和3年11月18日）2021/12/3**

<https://www.fsc.go.jp/fsciis/foodSafetyMaterial/search?year=&from=struct&from_year=2021&from_month=11&from_day=6&to=struct&to_year=2021&to_month=11&to_day=18&max=100>

**４．****<農水省関係>**<https://www.maff.go.jp/>

**■***NEW***英国からの家きん肉等の一時輸入停止措置について　2021/12/16**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/211216_8.html>

　　農林水産省は、12月13日（月曜日）に英国のリンカンシャー州、ウィルトシャー州及びオックスフォードシャー州からの家きん肉等の一時輸入停止措置を講じました。

1.経緯

英国のリンカンシャー州及びウィルトシャー州の家きん飼養農場において、高病原性鳥インフルエンザ（H5N1亜型）の発生が確認され、本発生に伴い設定された制限地域が隣接するオックスフォードシャー州に及んだ旨、英国家畜衛生当局から情報提供がありました。

2.対応

英国家畜衛生当局からの情報提供を受けて、同病の我が国への侵入防止に万全を期するため、令和3年12月13日（月曜日）にリンカンシャー州、ウィルトシャー州及びオックスフォードシャー州からの家きん肉等の輸入を一時停止（※）しました。

（参考）生きた家きんについては、令和2年11月以降、コンパートメント施設以外の施設からは引き続き一時輸入停止措置をしています。

**■***NEW***千葉県市川市で発生した高病原性鳥インフルエンザ（国内6例目）に係る搬出制限の解除について　2021/12/16**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/211216.html>

　千葉県及び東京都は、千葉県市川市で確認された高病原性鳥インフルエンザ（今シーズン国内6例目）に関し、発生農場の半径3kmから10km以内の区域に設定している搬出制限を本日午前0時に解除しました。

今後、千葉県及び東京都は、国内6例目の移動制限区域内で、当該疾病の新たな発生が認められなければ、令和3年12月27日（月曜日）午前0時(12月26日（日曜日）24時)をもって、当該移動制限を解除する見込みです。

1.今後の予定

（1）千葉県及び東京都は、千葉県市川市で確認された高病原性鳥インフルエンザ（今シーズン国内6例目）に関し、本日午前0時、発生農場の半径3kmから10km以内の区域について設定している搬出制限を解除しました。

（2）今後、千葉県及び東京都は、国内6例目の移動制限区域内で、当該疾病の新たな発生が認められなければ、発生農場の防疫措置が完了した12月5日の翌日から起算して21日が経過する、12月27日（月曜日）午前0時(12月26日(日曜日)24時)をもって、当該移動制限を解除する見込みです。

**■***NEW***ドイツからの家きん肉等の一時輸入停止措置について　2021/12/14**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/211214_5.html>

　　農林水産省は、令和3年12月14日（火曜日）にドイツのザクセン・アンハルト州からの家きん肉等の一時輸入停止措置を講じました。

1.経緯

ドイツのザクセン・アンハルト州の家きん飼養農場において、高病原性鳥インフルエンザ（H5N1亜型）の発生が確認された旨、ドイツ家畜衛生当局から国際獣疫事務局（OIE）に通報がありました。

2.対応

OIEへの通報を受けて、同病の我が国への侵入防止に万全を期するため、令和3年12月14日（火曜日）にザクセン・アンハルト州からの家きん肉等の輸入を一時停止（※）しました。

（参考）生きた家きんについては、令和3年10月25日（月曜日）、同国シュレースヴィヒ・ホルシュタイン州での高病原性鳥インフルエンザ（H5N1亜型）の発生を受け、ドイツ全土からの輸入を停止しています。

**■***NEW***青森県で確認された高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜（国内9例目）の遺伝子解析及びNA亜型の確定について　2021/12/14**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/211214_6.html>

　　青森県三戸町(さんのへまち)で確認された高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜について、動物衛生研究部門が実施した遺伝子解析の結果、高病原性鳥インフルエンザの患畜であることが確認されました。

また、当該高病原性鳥インフルエンザのウイルスについて、NA亜型が判明し、H5N1亜型であることが確認されました。

1.概要

（1）青森県三戸町の農場で確認された高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜（12月12日疑似患畜確定)について、動物衛生研究部門（注）が実施した遺伝子解析の結果、高病原性と判断される配列が確認されました。

（2）これを受け、農林水産省は、「高病原性鳥インフルエンザ及び低病原性鳥インフルエンザに関する特定家畜伝染病防疫指針」に基づき、当該家きんを高病原性鳥インフルエンザの患畜と判定しました。

（3）また、当該高病原性鳥インフルエンザウイルスについて、動物衛生研究部門における検査の結果、NA亜型が判明し、H5N1亜型であることが確認されました。

**■***NEW***兵庫県姫路市で発生した高病原性鳥インフルエンザ（国内4例目）に係る移動制限の解除について　2021/12/14**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/211214.html>

　　兵庫県は、同県姫路市で確認された高病原性鳥インフルエンザ（今シーズン国内4例目）に関し、発生農場から半径3km以内で設定している移動制限区域について、令和3年12月14日（火曜日）午前0時（12月13日（月曜日）24時）をもって、当該移動制限を解除しました。

1.経緯及び今後の予定

（1）兵庫県は、同県姫路市の養鶏場において高病原性鳥インフルエンザ（今シーズン国内4例目）が発生したことを受け、家畜伝染病予防法に基づき、移動制限区域（発生農場の半径3km以内の区域）及び搬出制限区域（発生農場の半径3kmから10kmまでの区域）を設定しました。

（2）兵庫県は、同県姫路市で確認された高病原性鳥インフルエンザに関し、令和3年12月3日午前0時に発生農場の半径3kmから10km以内の区域について設定している搬出制限を解除しました。

（3）今般、兵庫県は、国内4例目の移動制限区域について、全ての発生農場の防疫措置が完了した令和3年11月22日の翌日から起算して21日が経過する12月14日（火曜日）午前0時（12月13日（月曜日）24時）をもって、当該移動制限を解除しました。

**■***NEW***英国からの家きん肉等の一時輸入停止措置について　2021/12/13**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/211213_3.html>

　　農林水産省は、12月9日（木曜日）に英国のサフォーク州からの家きん肉等の一時輸入停止措置を講じました。

1.経緯

英国のサフォーク州の家きん飼養農場において、高病原性鳥インフルエンザ（H5N1亜型）の発生が確認された旨、英国家畜衛生当局から情報提供がありました。

2.対応

英国家畜衛生当局からの情報提供を受けて、同病の我が国への侵入防止に万全を期するため、令和3年12月9日（木曜日）にサフォーク州からの家きん肉等の輸入を一時停止（※）しました

（参考）生きた家きんについては、令和2年11月以降、コンパートメント施設以外の施設からは引き続き一時輸入停止措置をしています。

**■***NEW***秋田県横手市で発生した高病原性鳥インフルエンザ（国内1例目）に係る移動制限の解除について　2021/12/13**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/211213.html>

　　秋田県は、同県横手市で確認された高病原性鳥インフルエンザ（今シーズン国内1例目）に関し、発生農場から半径3km以内で設定している移動制限区域について、令和3年12月12日（日曜日）午前0時（12月11日（土曜日）24時）をもって、当該移動制限を解除しました。

1.経緯及び今後の予定

（1）秋田県は、同県横手市の養鶏場において高病原性鳥インフルエンザ（今シーズン国内1例目）が発生したことを受け、家畜伝染病予防法に基づき、移動制限区域（発生農場の半径3km以内の区域）及び搬出制限区域（発生農場の半径3kmから10kmまでの区域）を設定しました。

（2）秋田県は、同県横手市で確認された高病原性鳥インフルエンザに関し、令和3年12月1日午前0時に発生農場の半径3kmから10km以内の区域について設定している搬出制限を解除しました。

（3）今般、秋田県は、国内1例目の移動制限区域について、全ての発生農場の防疫措置が完了した令和3年11月20日の翌日から起算して21日が経過する12月12日（日曜日）午前0時（12月11日（土曜日）24時）をもって、当該移動制限を解除しました。

**■***NEW***宮城県における豚熱の患畜の確認（国内75例目）について　2021/12/12**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/211212_5.html>

　　本日（12月12日（日曜日））、宮城県大河原町（おおがわらまち）の養豚農場において家畜伝染病である豚熱の患畜が確認されました。

現場及び周辺地域にも本病のウイルスが存在する可能性があり、人や車両を介して本病のまん延を引き起こすおそれがあります。このため、現場及び周辺地域での取材は、厳に慎むよう御協力をお願いいたします。

1.発生農場の概要

所在地：宮城県大河原町

飼養状況：約9,700頭

疫学関連農場：宮城県白石市（1農場）

2.経緯

（1）宮城県は、同県大河原町の農場から、異状（複数頭でチアノーゼ）が見られるとの通報を受け、昨日（12月11日（土曜日））、当該農場に立ち入り、病性鑑定を実施。

（2）宮城県の検査により豚熱の疑いが生じたため、農研機構動物衛生研究部門（注）で精密検査を実施したところ、本日（12月12日（日曜日））、豚熱の患畜であることが判明。

**■***NEW***青森県における高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜の確認（国内9例目）及び「農林水産省鳥インフルエンザ防疫対策本部」の持ち回り開催について　2021/12/12**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/211212.html>

　　本日（12月12日（日曜日））、青森県三戸町（さんのへまち）の肉用種鶏農場において、家畜伝染病である高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜が確認（今シーズン国内9例目）されました。

これを受け、農林水産省は、「農林水産省鳥インフルエンザ防疫対策本部」を持ち回りで開催し、今後の対応方針について決定します。

1.農場の概要

農場所在地：青森県三戸町

飼養状況：肉用種鶏（約7千羽）

2.経緯

（1）昨日（12月11日（土曜日））、青森県は、同県三戸町の農場から、死亡羽数が増加してる旨の通報を受けて、当該農場に対し移動の自粛を要請するとともに農場への立入検査を実施。

（2）同日、当該鶏について鳥インフルエンザの簡易検査を実施し陽性であることが判明。

（3）本日（12月12日（日曜日））、当該鶏について遺伝子検査を実施した結果、高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜であることを確認。

**■***NEW***英国の日本産食品に対する放射性物質輸入規制に関するリスク評価報告書の公表及びパブリックコメントの開始について　2021/12/10**

<https://www.maff.go.jp/j/press/yusyutu_kokusai/chiiki/211210.html>

　　英国食品基準庁（Food Standards Agency:FSA）は、英国時間12月10日（金曜日）に日本産食品に対する放射性物質輸入規制に関するリスク評価報告書を公表するとともに、同日から2022年2月11日（金曜日）までのパブリックコメントを開始することを発表しましたので、お知らせします。

1 リスク評価報告書の内容

リスク評価報告書では、英国がEU離脱以後も適用していた日本産食品に対する放射性物質輸入規制についてリスク評価を行い、その結果、輸入規制を撤廃しても、英国の消費者のリスクの増加は無視できるものであると結論づけています。

2 パブリックコメントの内容

パブリックコメントでは、輸入規制の撤廃を最も望ましい選択肢としつつ、関係者から輸入規制の撤廃案についてコメントを求めています。

＜添付資料・参考リンク＞

（参考資料）英国の日本産食品に対する放射性物質輸入規制に関するリスク評価報告書の公表及びパブリックコメントの開始について

<https://www.maff.go.jp/j/press/yusyutu_kokusai/chiiki/attach/pdf/211210-1.pdf>

**英国政府のリスク評価報告書**

<https://www.food.gov.uk/evidence/quantitative-risk-assessment-of-radiocaesium-in-japanese-foods>

**英国政府のパブリックコメント**

<https://www.food.gov.uk/news-alerts/consultations/review-of-retained-regulation-20166-on-importing-food-from-japan-following-the-fukushima-nuclear-accident>

**■***NEW***英国からの家きん肉等の一時輸入停止措置について　2021/12/10**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/211210.html>

　　農林水産省は、12月8日（水曜日）に英国のアントリム州、ティロン州及びイースト・ライディング・オブ・ヨークシャー州からの家きん肉等の一時輸入停止措置を講じました。

1.経緯

英国のアントリム州、ティロン州及びイースト・ライディング・オブ・ヨークシャー州の家きん飼養農場において、高病原性鳥インフルエンザ（H5N1亜型）の発生が確認された旨、英国家畜衛生当局から情報提供がありました。

2.対応

英国家畜衛生当局からの情報提供を受けて、同病の我が国への侵入防止に万全を期するため令和3年12月8日（水曜日）にアントリム州、ティロン州及びイースト・ライディング・オブ・ヨークシャー州からの家きん肉等の輸入を一時停止（※）しました。

**（参考）生きた家きんについては、令和2年11月以降、コンパートメント施設以外の施設からは、引き続き一時輸入停止措置をしています。**

**■***NEW***令和3年度我が国周辺水域の水産資源に関する評価結果が公表されました（スルメイカ）　2021/12/10**

<https://www.jfa.maff.go.jp/j/press/sigen/211210.html>

**■埼玉県で確認された高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜（国内7例目）の遺伝子解析及びNA亜型の確定について　2021/12/9**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/211209.html>

　埼玉県美里町で確認された高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜について、動物衛生研究部門が実施した遺伝子解析の結果、高病原性鳥インフルエンザの患畜であることが確認されました。

また、当該高病原性鳥インフルエンザのウイルスについて、NA亜型が判明し、H5N1亜型であることが確認されました。

1.概要

（1）埼玉県美里町の農場で確認された高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜（12月7日疑似患畜確定)について、動物衛生研究部門（注）が実施した遺伝子解析の結果、高病原性と判断される配列が確認されました。

（2）これを受け、農林水産省は、「高病原性鳥インフルエンザ及び低病原性鳥インフルエンザに関する特定家畜伝染病防疫指針」に基づき、当該家きんを高病原性鳥インフルエンザの患畜と判定しました。

（3）また、当該高病原性鳥インフルエンザウイルスについて、動物衛生研究部門における検査の結果、NA亜型が判明し、H5N1亜型であることが確認されました。

**■広島県で確認された高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜（国内8例目）の遺伝子解析及びNA亜型の確定について　2021/12/9**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/211209_4.html>

　　広島県福山市で確認された高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜について、動物衛生研究部門が実施した遺伝子解析の結果、高病原性鳥インフルエンザの患畜であることが確認されました。

また、当該高病原性鳥インフルエンザのウイルスについて、NA亜型が判明し、H5N1亜型であることが確認されました。

1.概要

（1）広島県福山市の農場で確認された高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜（12月7日疑似患畜確定)について、動物衛生研究部門（注）が実施した遺伝子解析の結果、高病原性と判断される配列が確認されました。

（2）これを受け、農林水産省は、「高病原性鳥インフルエンザ及び低病原性鳥インフルエンザに関する特定家畜伝染病防疫指針」に基づき、当該家きんを高病原性鳥インフルエンザの患畜と判定しました。

（3）また、当該高病原性鳥インフルエンザウイルスについて、動物衛生研究部門における検査の結果、NA亜型が判明し、H5N1亜型であることが確認されました。

**■株式会社五橋水産における生鮮水産物の不適正表示に対する措置について　2021/12/8**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/kansa/211208.html>

　　農林水産省は、株式会社五橋水産（本社：熊本県天草市今釜町10番31-2号グリーンハイツ福山2号C。法人番号9330001025962。以下「五橋水産」という。）が、生鮮水産物あさりの原産地について、中国産又は福岡県産であるにもかかわらず、熊本県産と事実と異なる表示をし販売していたことを確認しました。

このため、本日、五橋水産に対し、食品表示法に基づき、表示の是正と併せて、原因の究明・分析の徹底、再発防止対策の実施等について指示を行いました。

1.経過

農林水産省九州農政局が、令和元年8月22日から令和3年11月24日までの間、五橋水産に対し、また、農林水産省中国四国農政局が、令和2年7月15日から7月28日までの間、五橋水産下関事務所(山口県下関市東大和町1-4-38 富士ビル601)に対し、食品表示法（平成25年法律第70号）第8条第2項の規定に基づく立入検査等を行いました。

この結果、農林水産省は、五橋水産が、生鮮水産物あさりの原産地について、以下のとおり事実と異なる表示をし、少なくとも平成31年1月2日から2月10日までの間に、630,330kgを一般用生鮮食品として最大で22社の中間流通業者に対し販売したことを確認しました。(別紙1参照)

(1)生鮮水産物あさりの原産地が中国産であるにもかかわらず、熊本県産と事実と異なる表示をして、少なくとも平成31年1月2日から2月10日までの間に、611,320kgを一般用生鮮食品として最大で22社の中間流通業者に対し販売したこと。

(2)生鮮水産物あさりの原産地が福岡県産であるにもかかわらず、熊本県産と事実と異なる表示をして、少なくとも平成31年1月7日から2月10日までの間に、19,010kgを一般用生鮮食品として最大で11社の中間流通業者に対し販売したこと。

2.措置

五橋水産が行った上記1の行為は、食品表示法第4条第1項の規定に基づき定められた食品表示基準（平成27年内閣府令第10号）第18条第1項の表の「原産地」の表示の方法の規定に違反するものです。（別紙2参照）

このため、農林水産省は、五橋水産に対し、食品表示法第6条第1項の規定に基づき、以下の内容の指示を行いました。

指示の内容

(1) 販売する全ての食品について、直ちに表示の点検を行い、不適正な表示の食品については速やかに食品表示基準の規定に従って、適正な表示に是正した上で販売すること。

(2) 販売していた食品について、不適正な表示を行った主たる原因として、食品表示制度に関する法令遵守の認識が著しく欠如していたと考えざるを得ないことから、これを含めた原因の究明・分析を徹底すること。

(3)食品表示制度の遵守を徹底し、再発防止対策を適切に実施すること。これにより、今後、販売する食品について、食品表示基準に違反する不適正な表示を行わないこと。

(4) 全役員及び従業員に対して、食品表示制度についての啓発を行い、その遵守を徹底すること。

(5) (1)から(4)までに基づいて講じた措置について、令和4年1月11日までに農林水産大臣宛てに提出すること。

　別紙1 不適正表示一覧表

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/kansa/attach/pdf/211208-1.pdf>

別紙2 食品表示法（抜粋）

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/kansa/attach/pdf/211208-2.pdf>

参考 株式会社五橋水産の概要

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/kansa/attach/pdf/211208-3.pdf>

**■ポルトガルからの家きん肉等の一時輸入停止措置について　2021/12/8**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/211208_6.html>

　　農林水産省は、12月6日（月曜日）にポルトガルからの家きん肉等の一時輸入停止措置を講じました。

1.経緯

ポルトガルの家きん飼養施設において、高病原性鳥インフルエンザ（H5N1亜型）の発生が確認された旨、ポルトガル家畜衛生当局から国際獣疫事務局（OIE）に通報がありました。

2.対応

OIEへの通報を受けて、同病の我が国への侵入防止に万全を期するため、令和3年12月6日（月曜日）にポルトガルからの家きん肉等の輸入を一時停止（※）しました。

（参考）生きた家きんについては、2国間で輸入条件が設定されていないため、従前より輸入できません。

**■英国からの家きん肉等の一時輸入停止措置について　2021/12/8**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/211208_7.html>

　　農林水産省は、12月6日（月曜日）に英国のダンフリースシャー州、グウェント州及びミッド・グラモーガン州からの、12月7日（火曜日）にダラム州からの家きん肉等の一時輸入停止措置を講じました。

1.経緯

英国のダンフリースシャー州、ポーイス州及びノースヨークシャー州の家きん飼養農場において、高病原性鳥インフルエンザ（H5N1亜型）の発生が確認された旨、並びに、本発生に伴い設定された制限地域が隣接するグウェント州、ミッド・グラモーガン州及びダラム州に及んだ旨、英国家畜衛生当局から情報提供がありました。

（参考）ポーイス州及びノースヨークシャー州からの家きん肉等については、高病原性鳥インフルエンザの発生により、令和3年11月以降、一時輸入停止措置をしています。

2.対応

英国家畜衛生当局からの情報提供を受けて、同病の我が国への侵入防止に万全を期するため、令和3年12月6日（月曜日）にダンフリースシャー州、グウェント州及びミッド・グラモーガン州からの、12月7日（火曜日）にダラム州からの家きん肉等の輸入を一時停止（※）しました。

（参考）生きた家きんについては、令和2年11月以降、コンパートメント施設以外の施設からは引き続き一時輸入停止措置をしています。

**■鹿児島県出水市で発生した高病原性鳥インフルエンザ（国内2例目及び3例目）に係る移動制限の解除について　2021/12/8**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/211208.html>

　　鹿児島県は、同県出水市で確認された高病原性鳥インフルエンザ（今シーズン国内2例目及び3例目）に関し、発生農場から半径3km以内で設定している移動制限区域について、令和3年12月8日（水曜日）午前0時（12月7日（火曜日）24時）をもって、当該移動制限を解除しました

1.経緯及び今後の予定

（1）鹿児島県は、同県出水市の養鶏場において高病原性鳥インフルエンザ（今シーズン国内2例目及び3例目）が発生したことを受け、家畜伝染病予防法に基づき、移動制限区域（発生農場の半径3km以内の区域）及び搬出制限区域（発生農場の半径3kmから10kmまでの区域）を設定しました。

（2）鹿児島県は、同県出水市で確認された高病原性鳥インフルエンザに関し、令和3年12月2日午前11時に発生農場の半径3kmから10km以内の区域について設定している搬出制限を解除しました。

（3）今般、鹿児島県は、国内2例目及び3例目の移動制限区域について、全ての発生農場の防疫措置が完了した令和3年11月16日の翌日から起算して21日が経過する12月8日（水曜日）午前0時（12月7日（火曜日）24時）をもって、当該移動制限を解除しました。

**■英国からの家きん肉等の一時輸入停止措置について　2021/12/7**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/211207_3.html>

　　農林水産省は、12月3日（金曜日）に英国のヘレフォードシャー州からの家きん肉等の一時輸入停止措置を講じました。

1.経緯

英国のヘレフォードシャー州の家きん飼養農場において、高病原性鳥インフルエンザ（H5N1亜型）の発生が確認された旨、英国家畜衛生当局から情報提供がありました。

2.対応

英国家畜衛生当局からの情報提供を受けて、同病の我が国への侵入防止に万全を期するため、令和3年12月3日（金曜日）にヘレフォードシャー州からの家きん肉等の輸入を一時停止（※）しました。

（参考）生きた家きんについては、令和2年11月以降、コンパートメント施設以外の施設からは引き続き一時輸入停止措置をしています。

**■千葉県で確認された高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜（国内6例目）の遺伝子解析及びNA亜型の確定について　2021/12/7**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/211207_4.html>

　　千葉県市川市で確認された高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜について、動物衛生研究部門が実施した遺伝子解析の結果、高病原性鳥インフルエンザの患畜であることが確認されました。

また、当該高病原性鳥インフルエンザのウイルスについて、NA亜型が判明し、H5N1亜型であることが確認されました。

1.概要

（1）千葉県市川市の宮内庁新浜鴨場で確認された高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜（12月5日疑似患畜確定)について、動物衛生研究部門（注）が実施した遺伝子解析の結果、高病原性と判断される配列が確認されました。

（2）これを受け、農林水産省は、「高病原性鳥インフルエンザ及び低病原性鳥インフルエンザに関する特定家畜伝染病防疫指針」に基づき、当該家きんを高病原性鳥インフルエンザの患畜と判定しました。

（3）また、当該高病原性鳥インフルエンザウイルスについて、動物衛生研究部門における検査の結果、NA亜型が判明し、H5N1亜型であることが確認されました。

**■広島県における高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜の確認（国内8例目）及び「農林水産省鳥インフルエンザ防疫対策本部」の持ち回り開催について　2021/12/7**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/211207_2.html>

　　本日（12月7日（火曜日））、広島県福山市の採卵鶏農場において、家畜伝染病である高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜が確認（今シーズン国内8例目）されました。

これを受け、農林水産省は、「農林水産省鳥インフルエンザ防疫対策本部」を持ち回りで開催し、今後の対応方針について決定します。

1.農場の概要

農場所在地：広島県福山市

飼養状況：採卵鶏（約3万羽）

2.経緯

（1）昨日（12月6日（月曜日））、広島県は、同県福山市の農場から、死亡羽数が増加してる旨の通報を受けて、当該農場に対し移動の自粛を要請するとともに農場への立入検査を実施

（2）同日、当該鶏について鳥インフルエンザの簡易検査を実施し陽性であることが判明。

（3）本日（12月7日（火曜日））、当該鶏について遺伝子検査を実施した結果、高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜であることを確認。

**■埼玉県における高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜の確認（国内7例目）について　2021/12/7**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/211207.html>

　　本日（12月7日（火曜日））、埼玉県美里町の採卵鶏農場において、高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜が確認（今シーズン国内7例目）されました。

当該農場は、農家から通報があった時点から飼養家きん等の移動を自粛しています。

なお、我が国の現状において、鶏肉や鶏卵等を食べることにより、ヒトが鳥インフルエンザウイルスに感染する可能性はないと考えております。

現場での取材は、本病のまん延を引き起こすおそれがあること、農家の方のプライバシーを侵害しかねないことから、厳に慎むよう御協力をお願いいたします。

1.農場の概要

所在地：埼玉県美里町

飼養状況：採卵鶏(約1.7万羽）

2.経緯

（1）昨日（12月6日（月曜日））、埼玉県は、同県美里町の農場から、異状（まとまって死亡）がみられるとの通報を受けて、当該農場に対し移動の自粛を要請するとともに農場への立入検査を実施。

（2）同日、当該鶏について鳥インフルエンザの簡易検査を実施し陽性であることが判明。

（3）本日（12月7日（火曜日））、当該鶏について遺伝子検査を実施した結果、高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜であることを確認。

**■ドイツからの家きん肉等の一時輸入停止措置について　2021/12/6**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/211206_3.html>

　　農林水産省は、令和3年12月4日（土曜日）にドイツのバイエルン州、テューリンゲン州及びザクセン州からの家きん肉等の一時輸入停止措置を講じました。

1.経緯

ドイツのバイエルン州及びテューリンゲン州の家きん飼養農場において、高病原性鳥インフルエンザ（H5N1亜型）の発生が確認され、テューリンゲン州での発生により設定された制限地域が隣接するザクセン州に及んだ旨、ドイツ家畜衛生当局から国際獣疫事務局（OIE）に通報がありました。

2.対応

OIEへの通報を受けて、同病の我が国への侵入防止に万全を期するため、令和3年12月4日（土曜日）にバイエルン州、テューリンゲン州及びザクセン州からの家きん肉等の輸入を一時停止（※）しました。

（参考）生きた家きんについては、令和3年10月25日（月曜日）、同国シュレースヴィヒ・ホルシュタイン州での高病原性鳥インフルエンザ（H5N1亜型）の発生を受け、ドイツ全土からの輸入を停止しています。

**■熊本県で確認された高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜（国内5例目）の遺伝子解析及びNA亜型の確定について　2021/12/6**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/211206.html>

　　熊本県南関町（なんかんまち）で確認された高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜について、動物衛生研究部門が実施した遺伝子解析の結果、高病原性鳥インフルエンザの患畜であることが確認されました。

また、当該高病原性鳥インフルエンザのウイルスについて、NA亜型が判明し、H5N1亜型であることが確認されました。

1.概要

（1）熊本県南関町の農場で確認された高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜（12月3日疑似患畜確定)について、動物衛生研究部門（注）が実施した遺伝子解析の結果、高病原性と判断される配列が確認されました。

（2）これを受け、農林水産省は、「高病原性鳥インフルエンザ及び低病原性鳥インフルエンザに関する特定家畜伝染病防疫指針」に基づき、当該家きんを高病原性鳥インフルエンザの患畜と判定しました。

（3）また、当該高病原性鳥インフルエンザウイルスについて、動物衛生研究部門における検査の結果、NA亜型が判明し、H5N1亜型であることが確認されました。

**■千葉県における高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜の確認（国内6例目）及び「農林水産省鳥インフルエンザ防疫対策本部」の持ち回り開催について　2021/12/5**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/211205.html>

　　本日、千葉県市川市の宮内庁新浜鴨場において、家畜伝染病である高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜が確認（今シーズン国内6例目）されました。

これを受け、農林水産省は、「農林水産省鳥インフルエンザ防疫対策本部」を持ち回りで開催し、今後の対応方針について決定します。

1.農場の概要

農場所在地：千葉県市川市

飼養状況：約340羽

2.経緯

（1）昨日（12月4日（土曜日））、千葉県は、同県市川市の宮内庁新浜鴨場から、あひる（あいがも）の死亡やふらつき症状が見られる旨の通報を受け、立入検査を実施。

（2）同日、当該あひる（あいがも）について鳥インフルエンザの簡易検査を実施し陽性であることが判明。

（3）本日（12月5日（日曜日））、当該あひる（あいがも）について遺伝子検査を実施した結果、高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜であることを確認。

**５.****[消費者庁関連](#消費者庁関連)**

<https://www.caa.go.jp/>

**「消費者庁」になりすましたTwitter、Facebookアカウントにご注意ください。**

**■高齢者の事故を防ぐために　2021/12/8**

[https://www.caa.go.jp/policies/policy/consumer\_safety/caution/caution\_055/#bathing\_accident](https://www.caa.go.jp/policies/policy/consumer_safety/caution/caution_055/%23bathing_accident)

**消費者庁リコール情報サイト**<https://www.recall.caa.go.jp/>

**（回収中か否かに関わらず、だいたい一回の掲載で消去します）**

**★ベルク「春菊」 - 返金／回収　残留農薬の一律基準超過（フェニトロチオン0.03ppm検出、ヘキシチアゾクス0.28ppm検出、ルフェヌロン0.24ppm検出）　2021/12/16**

**★ライフフーズ（ヨークベニマル本宮インター店）「熟成湯こね食パン 半斤」 - 返金／回収　アレルゲン「卵」の表示欠落、乳化剤、リン酸塩（Na）、増粘多糖類、着色料（アナトー）の添加物表示欠落　2021/12/16**

**★B・wave「山野柚子ぽん酢、内海橙ぽん酢」 - 回収　アレルゲン「小麦」の表示欠落　2021/12/16**

**★セルフィユ「いもあんバターどら焼き」 - 返金／回収　賞味期限の誤表示（誤：22.12.26、正：21.12.26）　2021/12/16**

**★大象ジャパン「宗家キムチ」 - 返金／回収　ビニール片の混入　2021/12/16**

**★カインズ「洗いやすい卓上ポット（カインズ）」 - 返金／回収　ポット内部の中栓の一部がポット内部で外れ、止水機能が十分に機能せず場合によっては火傷するおそれがあるため　2021/12/16**

**★矢野養鶏場「鶏肉（解体済み冷凍鶏肉ビニール袋詰め）」 - 回収　食品に消毒薬成分（パンパックス 主成分：塩化ジデシルジメチルアンモニウム）が残留している可能性があるため　2021/12/15**

**★デリカ食品「海老ツナ太巻き」 - 返金／回収　アレルゲン「さけ」の表示欠落　2021/12/15**

**★いかるが乳業「いかるが元気の出る牛乳、ほか8商品」 - 返金／回収　味や匂いに異変があるため　2021/12/15**

　商品名　①いかるが元気の出る牛乳、②いかるが牛乳、③いかるが北海道牛乳、④酪農成分無調整牛乳、⑤阿蘇牛乳、⑥北海道のおいしい牛乳、⑦いかるがのミルク 蒼い朝3.8、⑧業務用3.8ミルク、⑨いかるが低脂肪乳

**全号に掲載した　調査中の牛乳のメーカーのようです　これで幕引きでしょうか**

**★かどや「もの字焼」 - 返金／回収　消費期限の誤表示（誤：22.12.16、正：21.12.16）　2021/12/14**

**★北辰水産（小田急百貨店藤沢店）「さば味醂」 - 返金／回収　アレルゲン「小麦」の表示欠落　2021/12/13**

**★日本食研製造「焼肉のたれ宮殿 中辛 350g」 - 返金／回収　酵母（Torulaspora属）が残存・増殖し容器膨張、開封時に噴きこぼれる恐れがあるため　2021/12/13**

**★大山製菓「たまり飴」 - 返金／回収　アレルゲン「大豆、小麦」の表示欠落　2021/12/13**

**★感謝農園平井「あんぽ柿」 - 返金／回収　虫混入の疑い　2021/12/13**

**★宮崎県経済農業協同組合連合会「宮崎産ニラ」 - 回収　自主検査による残留農薬基準値超過（検出成分アセタミブリド、検出値7.44ppm（基準値5ppm））　2021/12/13**

**★田舎い～なぁ かんぱにー「ほんまもんの甘酒200ml、ほか9商品」 - 返金／回収　容器の蓋の殺菌のため使用していた次亜塩素酸の期限が切れており殺菌不足の可能性あり。**

**定期的に使用水の塩素濃度の確認、設備の点検をしていなかった。使用水の塩素濃度が十分ではなかった。2021/12/10**

**★パタゴニア・インターナショナル「オーガニック・アプリコット+アーモンド・バー」 - 返金／回収　アメリカの在庫の一部から、カビが発生したと思われる製品が見つかったため　2021/12/10**

**★志満秀「海老の多の詩」 - 返金／回収　アレルゲン「小麦、乳成分、大豆」の表示欠落　2021/12/10**

**★らでぃっしゅ福祉会 「酒粕スティック、甘酒クラッカー」 - 返金／回収　針金が混入　2021/12/9**

**★CPフーズ「Vセレクトあんまん」 - 返金／回収　賞味期限の誤表示（誤：2022.12.09、正：2021.12.09）　2021/12/9**

**６.** **[食中毒・感染症](#食中毒・感染症)**

**■***NEW***インフルエンザ（総合ページ）**

<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryou/kenkou/kekkaku-kansenshou/infulenza/index.html>

**★細菌性食中毒★**

**■【速報】高齢者施設で13人からO157****広島県福山市**

**12/12(日) 13:10配信　中国新聞デジタル**

**調査中**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/d159c23d6bf09f7f9bbcaa482f5cde576d89482c>

**福山市の高齢者福祉施設 Ｏ１５７に１３人が感染　広島県福山市**

**12月12日　18時02分　広島 NEWS WEB**

**調査中**

<https://www3.nhk.or.jp/hiroshima-news/20211212/4000015439.html>

**■金沢・辻家庭園で食中毒　披露宴出席、男女15人が症状　石川県金沢市**

**12/16(木) 5:01配信　北國新聞社**

**カンピロバクター**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/b4c2e1601dccaf68c9bc2341f507cf78d8163d71>

**食中毒事件の概要について　2021/12/15　石川県金沢市**

**カンピロバクター**

<https://www4.city.kanazawa.lg.jp/data/open/cnt/3/18187/1/211215_pressrelease.pdf?20211215143222>

　１ 発生年月日　令和３年 12 月４日(土)

２ 原因施設　施設名 ： 辻家庭園 バンケット棟

業 種 ： 飲食店営業 レストラン

３ 事件の端緒 12 月 10 日(金)、富山県生活衛生課から本市保健所に対し、上記施設で行われた披露宴に参加した４名が下痢や腹痛などの症状を呈しており、うち１名の検便からカンピロバクターが検出されたとの連絡があった。

４ 事件の状況 調査の結果、

・当該披露宴に参列し、同じ食事を喫食した 54 名のうち 15 名が、食中毒様の症状を呈していること（15 名中５名が医療機関を受診）

・症状及び平均潜伏期間がカンピロバクターによるものと一致すること

・３名の患者便からカンピロバクターが検出されたこと

・患者に共通する食事は、当該施設が調理、提供した食事以外にないこと

・患者を診察した医師より食中毒の届出があったこと

以上から当該施設を原因とする食中毒と断定した。

５ 患者数等 15 名 （20～60 歳代の男女）

６ 主な症 状 下痢、腹痛、発熱

７ 措 置 等 営業者に対し、12 月 15 日から 17 日までの３日間、当該施設での営業の停止を命ずるとともに、施設・設備の清掃・消毒の実施を指示し、併せて衛生教育を実施する。

８ 病因物質 カンピロバクター（次ページ参照）

９ 原因食品 12 月４日に当該施設で調理、提供した食事

□ 本年度中の食中毒発生状況(金沢市) ６件、 患者 36 名(本件含む)

□ 昨年度同期の発生状況(金沢市) ４件、 患者 ８名

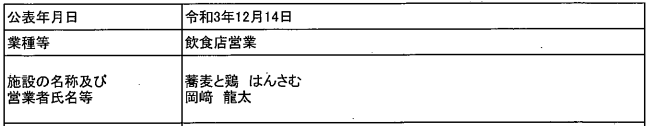
■ 本年度中の食中毒発生状況(石川県) ９件、 患者 45 名(本件含む)

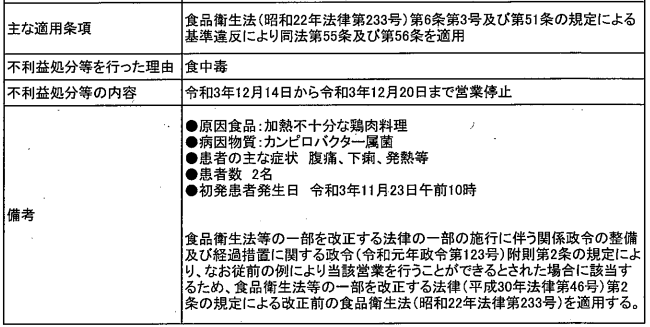
■ 昨年度同期の発生状況(石川県) ７件、 患者 19 名

**■飲食店営業施設等に対する不利益処分等 2021/12/14 世田谷区**

**カンピロバクター属菌**

<https://www.city.setagaya.lg.jp/mokuji/fukushi/003/005/d00144614_d/fil/shousai.pdf>





**■飲食店営業施設等に対する不利益処分等　2021/12/10　品川区**

**カンピロバクター**

<https://www.city.shinagawa.tokyo.jp/PC/kenkou/kenkou-eisei/kenkou-eisei-syokuhin/hpg000025581.html>

　公表年月日　令和3年12月10日

被処分者業種等 飲食店営業

施設の名称　鶏々味鳥

適用条項　食品衛生法（食品衛生法等の一部を改正する法律（平成30年法律第46号）第2条の規定による改正前の食品衛生法（昭和22年法律第233号）。以下「法」という。）第6条第3号の規定に違反するので、法第55条第1項の規定を適用

※食品衛生法等の一部を改正する法律の一部の施行に伴う関係政令の整備及び経過措置に関する政令（令和元年政令第123号）附則第2条の規定により、なお従前の例により当該営業を行うことができるとされた者であるから、当該営業者に対する不利益処分については、この法を適用する。

不利益処分を行った理由　食中毒の発生

不利益処分等の内容　令和3年12月10日から12月13日の4日間の営業停止

備考

原因食品：当該施設が11月26日に提供した食品

（サラダ、鶏皮ポン酢、鶏わさ、鶏マヨ、ひろちゃん焼き、炙り白レバー、カルビ、ヤゲン軟骨の唐揚げ、タコライス、飲み物）

病因物質：カンピロバクター・ジェジュニ

**■幼稚園7園でウエルシュ菌による食中毒・給食の業者に3日間の一部営業停止 長野市保健所**

**12/10(金) 19:41配信　ＳＢＣ信越放送　長野県長野市・白馬村**

**ウエルシュ菌**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/51d24b488246054d5ce3c3cfe2a3a0753ccdb048>

**市内でウエルシュ菌による食中毒が発生しました　2021/12/10　長野県長野市**

**ウエルシュ菌**

<https://www.city.nagano.nagano.jp/uploaded/attachment/373641.pdf>

　　　本日、長野市保健所は、市内の給食提供施設を食中毒の原因施設と断定し、この施設の営業者に対し令和３年 12 月 10 日（金）から 12 日（日）までの３日間、営業の一部停止を命じました。

患者は、12 月１日（水）にこの施設が製造した給食を喫食した７グループ 149 名で、現在は全員回復しています。

なお、施設は、12 月６日（月）から食中毒の原因となった給食を製造していたラインの営業を自粛しています。

【事件の探知】

令和３年 12 月３日（金）午後１時頃、「給食の後に下痢や腹痛の症状があり、他の者も同様の症状を呈している。」との連絡が市民からありました。

【長野市保健所による調査結果概要】

■患者らは、12 月１日（水）昼の給食の後、同日から腹痛、下痢などの症状を呈していました。

■保健所において患者９名の検便を行ったところ、７名の便からウエルシュ菌が検出されました。

■患者を診察した医師から、食中毒の届出がありました。

■これらのことから、長野市保健所はこの施設を原因とする食中毒と断定しました。

患者関係

発症日時 令和３年 12 月１日(水)午後１時から

主な症状 下痢、腹痛

発生場所 長野市、白馬村、須坂市、小布施町、千曲市、中野市

患者数及び喫食者数

患者数／喫食者数 149 名／1,458 名

患者内訳 年齢：10 歳未満 123 名、20 代 16 名、30 代４名、40 代２名、50 代３名、60 代 1 名

入院患者数 ０名

受診医療機関数 22 か所

原因食品 令和３年 12 月１日（水）に当該施設が提供した「鶏と野菜のコンソメ炒め」（推定）

病因物質 ウエルシュ菌

原因施設 施設名 デリクックちくま 第一工場

営業許可業種 飲食店営業、そうざい製造業

措置　令和３年 12 月 10 日（金）から 12 月 12 日(日)までの３日間、当該施設そうざい製造ラインの営業停止

検査結果

患者便：９検体中７検体からウエルシュ菌を検出　※長野市保健所環境衛生試験所にて検査実施

テーブル

自動的に生成された説明

**■（続報）12/10 広島キャンパス　キャンパス内学生食堂の営業再開について**

**近畿大学　2021/12/10**

**サルモネラ**

<https://www.kindai.ac.jp/engineering/news/topics/2021/12/034498.html>

　このたび、淀川食品株式会社が運営する本学部のThe BASE（工学部B館食堂）で提供したメニューにより食中毒が発生したことについて、発症された学生および保護者の方々、その他のご関係の皆様には多大なご迷惑とご心配をお掛けしましたことを、改めまして心からお詫び申しあげます。

原因は卵メニューによるサルモネラ菌と判明いたしました。

11月16日（火）から営業を停止しています学生食堂については、管轄の保健所の指導のもと「食堂内の一斉清掃・消毒作業」「食堂従業員の衛生講習会」「調理工程の点検・見直し」等を実施し、営業禁止措置が解除されたことから、12月13日（月）から営業を再開することといたします。

学生の皆さんには大変ご迷惑をお掛けいたしましたことを心からお詫び申し上げるとともに、健康な学生生活が送れるように再発防止に万全を期してまいります。

**■静岡県内の食中毒発生状況（令和３年次）　2021/11/24　静岡県御殿場市**

**腸管出血性大腸菌**

<http://www.pref.shizuoka.jp/kousei/ko-510/kannsi/documents/1210.pdf>

　発生年月日　2021/11/24

　管轄保健所　御殿場保健所

　患者数　9人

　原因施設業種　食堂

　病因物質　腸管出血性大腸菌

　原因食品　提供料理

**★ウイルスによる食中毒★**

**■**

**★寄生虫による食中毒★**

**■渋谷区が飲食店営業施設などに対して行った不利益処分など　2021/12/15　渋谷区**

**アニサキス**

<https://www.city.shibuya.tokyo.jp/kurashi/kenko/shokuhin/ihan_kohyo.html>

　公表年月日　令和3年12月15日

施設の業種　飲食店営業（注）

施設の名称　まる屋

処分の根拠条項 食品衛生法第6条第3号

処分を行った理由　食中毒の発生

処分などの内容　令和3年12月16日の1日間営業停止

病因物質・原因食品など

病因物質：アニサキス

原因食品：いわしのたたき

（注）食品衛生法等の一部を改正する法律（平成30年法律第46号）第2条による改正前の食品衛生法第52条第1項に基づく許可

**■飲食店営業施設等に対する不利益処分等　2021/12/13　北区**

**アニサキス**

<http://www.city.kita.tokyo.jp/seikatsueisei/kenko/ese/shokuhin/ese/shokuhin.html>

　公表年月日　令和3年12月13日

被処分者業種等 飲食店営業

施設の名称　麺匠酒場　ひらお

適用条項　食品衛生法第6条第3号違反

不利益処分を行った理由　食中毒の発生（病因物質：アニサキス）

不利益処分等の内容　生食用鮮魚介類（冷凍品※を除く。）の提供について営業停止1日間（令和3年12月13日）※冷凍品とは‐20℃で24時間以上の冷凍をしたものをいう。

備考

患者数：1名

原因食品：令和3年12月3日に当該施設で提供したしめさば

**★自然毒による食中毒★**

**■**

**★化学物質による食中毒★**

**■**

**★細菌による感染症★**

**■腸管出血性大腸菌感染症が発生しました　2021/12/13　岡山県備中市**

**感染症　腸管出血性大腸菌O26**

<https://www.pref.okayama.jp/uploaded/life/754095_6933196_misc.pdf>

　発 生 場 所 備中保健所井笠支所管内

患 者 １名（女、小学生）

発 症 年 月 日 令和３年１２月３日

速 報 年 月 日 令和３年１２月１３日

措 置そ の 他

○患者は、１２月３日から腹痛、軟便、血便、嘔吐の症状があった。

○１２月３日に医療機関を受診し、検査したところ、１２月１０日にベロ毒素産生性腸管出血性大腸菌Ｏ２６による感染症と確認されたため、届出があった。

○現在、症状は回復している。

○接触者については、現在調査中である。

備 考

患者等累計（本件を含む）

本年 ８０名 （岡山市３８名、倉敷市２１名を含む）

（参考） 昨年 １０２名

**■園児４人が腸管出血性大腸菌Ｏ１４５に感染　海津市の保育園　岐阜県海津市**

**12/10(金) 19:57配信**

**感染症　腸管出血性大腸菌O145**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/3f2aa5b226103bb04c85e8c1cf46abcb0660554a>

　岐阜県は１０日、海津市南濃町田鶴、石山保育園の園児４人が腸管出血性大腸菌Ｏ１４５に感染したと発表した。入院した園児はおらず、全員快方に向かっているという。

　県によると、１１月２７日以降、腹痛や嘔吐などの症状を訴えていた女児１人が今月６日に三重県内の医療機関を受診し、感染が判明。石山保育園で接触のあった園児や職員の検便を行ったところ、他に男児２人、女児１人の感染が分かったという。

**★ウイルスによる感染症★**

**■（速報）感染性胃腸炎患者の集団発生について　2021/12/13　北海道**

**感染症　サポウイルス・ノロウイルス**

<https://www.pref.hokkaido.lg.jp/fs/4/8/3/5/4/6/1/_/031213-06ityou.pdf>

　北見保健所　保育所　36名　サポウイルス

　帯広保健所　保育所　11名　ノロウィルス

1.発生の探知　2021/12/10、北見保健所管内の保育所から、複数の園児が、おう吐、下痢、腹痛等の症状を呈している旨、保健所に通報があった。

　2.発生の概要

　　北見保健所管内の保育所の園児35名及び職員1名の計36名が、12月3日から12月9日にかけておう吐、下痢、腹痛などの症状を呈し、うち13名が医療機関を受診した。（入院したものはいない）

　3.現在の状況　12月13日現在、症状は回復もしくは快方に向かっている

　4.経過

　　12月3日～12月9日　おう吐、下痢、腹痛などの有症者発生

12月7日　保育所から保健所に通報

12月10日　北海道立衛生研究所において有症者5名の便を検査した結果、3名からサポウイルスを確認

　5.感染経路　現在調査中

1.発生の探知　2021/12/8、帯広保健所管内の保育所から、複数の園児及び職員が、おう吐、下痢等の症状を呈している旨、同保健所に通報があった。

　2.発生の概要

　　園児10名及び職員1名が、12月6日から12月9日にかけておう吐、下痢、腹痛などの症状を呈し、うち8名が医療機関を受診した。（うち1人が入院し治療を受けた）

　3.現在の状況　12月13日現在、症状は回復もしくは快方に向かっている

　4.経過

　　12月6日～12月9日　おう吐、下痢などの有症者発生

12月8日　保育所から保健所に通報

12月6日～12月9日　医療機関において有症者1名の便を検査した結果、1名からノロウイルスを確認

　5.感染経路　現在調査中

**■（速報）感染性胃腸炎患者の集団発生について　2021/12/10　北海道**

**感染症　ノロウイルス**

<https://www.pref.hokkaido.lg.jp/fs/4/8/3/5/4/6/7/_/031210-03kansen.pdf>

　滝川保健所　保育所　64名　ノロウイルス

1.発生の探知　2021/12/9、滝川保健所管内の介護保険施設から、複数の入所者が胃腸炎症状を呈している旨、同保健所に通報があった。

　2.発生の概要

　　滝川保健所管内の介護保険施設の入所者41名及び職員23名の計64名が、12月3日から12月8日にかけておう吐、下痢などの症状を呈し、うち26名が医療機関を受診した。（うち1人が入院した）

　3.現在の状況　12月10日現在、症状は回復し、入院した1名は快方に向かっている

　4.経過

　　12月3日　おう吐、下痢などの有症者発生

12月4日　介護保険施設から保健所に通報

12月5日～12月6日　医療機関及び保健所において有症者10名の便を検査した結果、10名からノロウイルスを確認

　5.感染経路　現在調査中

**■保育所でノロウイルス集団感染 子どもら５５人が症状訴え**

**12月10日　06時39分　岩手 NEWS WEB**

<https://www3.nhk.or.jp/lnews/morioka/20211210/6040012837.html>

**■横浜の高校生がノロウイルス集団感染か　修学旅行先の北海道**

**12/9(木) 22:41配信　カナロコ by 神奈川新聞**

**感染症?　ノロウィルス**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/12d921227db88b46df56b56cdf875c385c47becb>

**■病院内保育所で集団ノロウイルス感染　23人の園児が嘔吐と下痢の症状も現在は快方に向かう　原因は調査中　静岡・島田市　12/9(木) 19:20配信　静岡朝日テレビ　静岡県島田市**

**感染症　ノロウィルス**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/73c02cbe5aa5848c10043acc1163ff492745023d>

**■『感染性胃腸炎』の感染　福岡県が全国最多に　福岡県**

**12/9(木) 17:27配信　FBS福岡放送**

**感染症　ノロウィルス**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/32807af7a8e985558756de9ae185ac72f50872c6>

**■千葉県習志野市の保育園でノロウイルス 園児ら34人集団感染　千葉県習志野市**

**12/9(木) 10:49配信**

**感染症　ノロウィルス**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/eae176ace427a356a8a2a05fbad80bd003824cdf>

　千葉県は8日、習志野市内の保育園で、ノロウイルスによる感染性胃腸炎の集団感染が発生したと発表しました。

　県によりますと、6日、習志野市内の保育園から習志野保健所に対し、複数の園児と職員が胃腸炎の症状を訴え欠席しているとの連絡があり、保健所が園児と職員の便を検査したところ、ノロウイルスを検出したということです。

　これまでに園児30人と職員4人の計34人が嘔吐や下痢などの症状を訴えていますが、重症者はなく、全員快方に向かっているということです。

　ノロウイルスは特に冬場から春先にかけて多く発生しているため、県は調理の前や食事の前、トイレの後などには手を十分に洗うなど、感染予防を徹底してほしいと呼びかけています。

**■（速報）感染性胃腸炎患者の集団発生について　2021/12/9　北海道**

**感染症　ノロウイルス**

<https://www.pref.hokkaido.lg.jp/fs/4/8/2/3/2/2/0/_/031209-02ityouen.pdf>

　深川保健所　保育所　18名　ノロウイルス

1.発生の探知　2021/12/6、深川保健所管内の保育所から、複数の園児が胃腸炎症状を呈している旨、同保健所に通報があった。

　2.発生の概要

　　深川保健所管内の保育所の園児１７名及び職員１名が、12月1日から12月8日にかけておう吐、下痢、腹痛などの症状を呈し、うち7名が医療機関を受診した。（入院したものはいない）

　3.現在の状況　12月9日現在、症状は回復もしくは快方に向かっている

　4.経過

　　12月1日～12月8日　おう吐、下痢、発熱などの有症者発生

12月6日　保育所から保健所に通報

12月4日～12月8日　医療機関及び保健所において有症者2名の便を検査した結果、2名からノロウイルスを確認

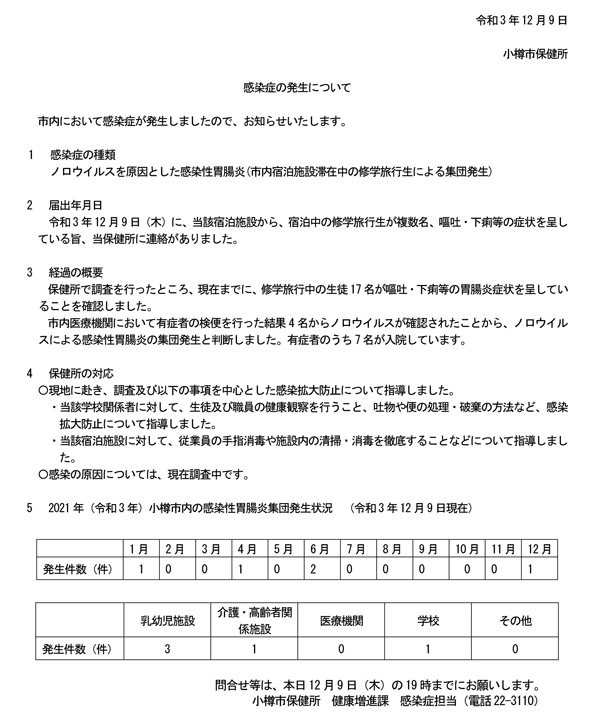
　5.感染経路　現在調査中

**■小樽市内でノロウイルス　17名の集団感染　北海道小樽市**

**2021/12/9　小樽ジャーナル**

**感染症　ノロウィルス**

<https://www.otaru-journal.com/2021/12/post-77001/>



**■一関市のこども園でノロウィルスの集団感染　岩手県一関市**

**12月07日　19時22分　岩手 NEWS WEB**

**感染症　ノロウィルス**

<https://www3.nhk.or.jp/lnews/morioka/20211207/6040012809.html>

**★その他の感染症★**

**■**

**★違反食品★**

**■渋谷区が違反食品などに対して行った不利益処分など　2021/12/16　渋谷区**

**食品衛生法第13条第2項違反（E.coliを検出）**

<https://www.city.shibuya.tokyo.jp/kurashi/kenko/shokuhin/ihan_kohyo.html>

　公表年月日　令和3年12月16日

違反品　品名：加熱後摂取冷凍食品（未加熱）：その他の穀類調整品（冷凍白糯とうもろこし）

数量：1,041CT及び13PS

違反の内容　食品衛生法第13条第2項違反（E.coliを検出）

違反品の原産国　中国

違反品の輸入者 氏名：有限会社静安

処分の根拠条項 食品衛生法第59条第1項

処分等の内容　令和3年12月16日、輸入者に対して販売禁止命令

備考　厚生労働省東京検疫所が実施した検査により違反を発見

**■食品衛生法に基づく行政処分（違反食品）　2021/12/10　名古屋市**

**食品衛生法第13条第2項違反（基準を超える二酸化硫黄の検出）**

<https://www.city.nagoya.jp/kenkofukushi/page/0000148004.html>

　公表年月日：令和3年12月10日

処分年月日：令和3年12月10日

業種：食品の輸入業

営業者名：株式会社　華成　代表取締役　陳　凱

行政処分の理由：食品衛生法第13条第2項違反（基準を超える二酸化硫黄の検出）

行政処分の適用条項：食品衛生法第59条第1項

行政処分の内容及び措置状況：積戻し、廃棄又は食用外への転用

対象食品：冷凍くるまえび（中国産）

備考：対象食品は、全量倉庫に保管されており、流通はしていません。

**■違反食品等に係る行政処分　2021/12/9　兵庫県相生市**

**生食用かきの規格基準(50,000/g)を超える細菌数(51,000/g)を検出**

<https://web.pref.hyogo.lg.jp/kf14/hw14_000000020.html>

　処分年月日　令和3年12月9日

営業者氏名　株式会社あけぼの海産

主な適用条項　法第13条第2項

行政処分を行った理由　生食用かきの規格基準(50,000/g)を超える細菌数(51,000/g)を検出

　行政処分の内容　回収命令

対象品目　生かき（生食用かき）合成樹脂トレー入り(100g) (120g)

加工年月日 21.12.5

消費期限 21.12.08

**★その他関連ニュース★**

**■食中毒（ノロウイルス）注意報を発令しました　2021/12/16　岡山県**

<https://www.pref.okayama.jp/uploaded/life/754419_6936103_misc.pdf>

　　感染症発生動向調査による定点医療機関からの感染性胃腸炎の届出件数が２週間連続で対前週比 1.1 倍以上に増加し、食中毒注意報の発令条件を満たしました。

このため、本日付けで県内全域に食中毒注意報を発令し、冬季において発生が危惧されるノロウイルス食中毒の予防について、食品関係事業者や県民に注意喚起を図ることにしましたので、お知らせします。

また、次の事項について重点的に取り組むことで、ノロウイルス食中毒の予防に努めます。

記

１ 監視指導

県内の各保健所では、飲食店、旅館、ホテルなど食中毒の発生リスクの高い施設を対象に、監視指導、食中毒発生防止の啓発活動を強化します。

２ 注意喚起

・マスメディアへの情報提供

・岡山県食品衛生協会等の関係機関を通じた注意喚起

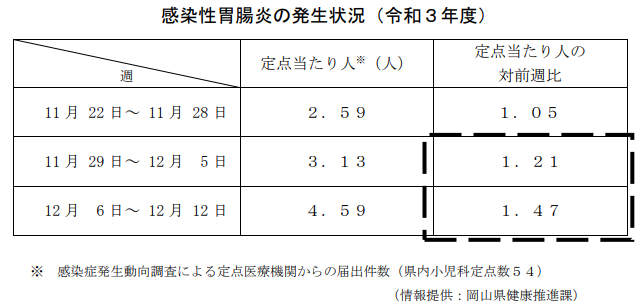
・食中毒予防啓発チラシの配布（２，５００枚）

・各保健所での啓発資材による注意喚起（のぼり、懸垂幕、電光掲示板等）

・公用車での広報（車側面にマグネット等）

・県庁ホームページによる広報

生活衛生課（https://www.pref.okayama.jp /site/presssystem/754419.html）



　（備考）

１ は、岡山県食中毒注意報等発令要領の発令の条件に該当する

２ 発令に至った根拠

　　　感染性胃腸炎の定点当たり人の対前週比（当該週の定点当たり人÷前週の定点当たり人) が、２週間連続で 1.1 以上となったため

　　（発令の条件の詳細は、別紙「令和３年度岡山県食中毒注意報等発令要領」のとおり）

（参考）

１ 過去３年間の食中毒（ノロウイルス）注意報発令状況

　　平成 30 年度 平成 30 年 12 月 13 日

　　令和 元年度 令和 2 年 1 月 23 日

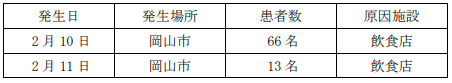
　　令和 ２年度 令和 3 年 2 月 25 日（H20 年度以降最も遅い発令)

２ ノロウイルスによる食中毒発生状況（県内）

●今シーズン（令和 3 年 10 月 1 日～令和 3 年 12 月 15 日時点）

発生なし

●昨シーズン（令和 2 年 10 月 1 日～令和 3 年 3 月 31 日）



**■ノロとインフルエンザ　12/11 9:39　下野新聞SOON**

<https://www.shimotsuke.co.jp/articles/-/532242>

**■インフルエンザ、13府県から計30人の報告 - 厚労省が11/29－12/5の1週間の状況公表**

**12/10(金) 14:55配信　医療介護ＣＢニュース**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/8d2cd2db5fbeac35e70fc893e71543fcb2e1d040>